

2005年度 作品賞 について
～企画力・技術力・デザイン力向上の一環として表彰～

株式会社三菱地所設計では、企画力・技術力・デザイン力の一層の向上を図るため、優れた作品や技術の社内表彰を毎年実施しておりますが、今般、2005年度の成果に対する表彰作品を選定しました。表彰式は5月15日にとり行いました。

1. 受賞作品

【最優秀賞】

「東京ビルディング」(東京都千代田区丸の内)

「東京の顔」とも言える東京駅南側の敷地形状が極端に細長いという難しい条件にありながら、ビルの効率性と良好な都市景観を創出したこと。東京駅と東京国際フォーラムを連絡する屋内貫通通路を商業機能およびオフィスエントランス機能とを併せ持つダイナミックな空間として成立させ、この種のビルにおける新しい解き方を示したこと。

【作品賞】

(優秀賞)

- 「三菱未来館@earth」(2005年日本国際博覧会「愛・地球博」内)
3R(Reduce Reuse Recycle)を考慮した素材によって床、壁、屋根を構成し、愛・地球博のテーマである「自然の叡智」を実践したこと。
- 「TAKANAWA The RESIDENCE」(東京都港区高輪)
100年を超えて街の風景であり続けるというコンセプトに見合った、タワー棟のハイグレードな設えと、中庭の巧みな造形による低層棟(他社設計)との見事な調和を実現したこと。
- 「井の頭公園パークハウス吉祥寺南町」(東京都武蔵野市吉祥寺)
第一種低層住居専用地域の厳しい条件において、敷地を最大限に生かしながら広い自然林を残し、近隣住宅地との調和を図ったこと。地域環境の向上に寄与する質の高い住空間を創出したこと。

(佳作)

- 「渋谷南東急ビル」(東京都渋谷区渋谷)
渋谷明治通りの雑踏に面しながら、整然とした質の高い仕上がりにより際立った存在となっていること。高い有効率、ローコスト・短工事を実現し、施主から高い評価を得たこと。
- 「フェリス女学院大学緑園体育館」(横浜市泉区緑園)
大学や学生とのワークショップにより「エコ体育館」づくりを進め、自然換気、自然採光、壁面緑化、屋上ビオトープ、雨水利用など地球環境問題軽減に貢献したこと。キャンパスのマスタープランに従い、象徴性を持った憩いの広場を整備したこと。キャンパス全体が「2005年神奈川建築コンクール」で受賞。

2. 各賞の趣旨

「作品賞」

建築として総合的に作品を評価。優れた作品を「優秀賞」とし、審査委員会が特に必要と認めた場合に「佳作」を設ける。

「最優秀賞」

応募されたものの中から特に優れたものを「最優秀賞」とする。

3. 審査過程

対象は、大規模(6,000㎡以上)、中小規模、住宅、ランドスケープ、リニューアルの5部門別に、2005年1月～12月の間に竣工した作品であり、2006年1月の応募期間中に、大規模6作品、中小規模6作品、住宅5作品、リニューアル1作品、その他1作品の計19作品の応募があった。
社内の審査委員会にて予備審査、本審査を実施し、4月10日に決定した。

以上